

## リニアテクノロジー、新製品「LT3652」を販売開始

シンプルな制御ループでピーク・パワー・トラッキングに対応できる画期的な 2A ソーラー・バッテリー・チャージャ

2009年8月20日 - 高性能アナログICのリーディングカンパニーであるリニアテクノロジーは、最近のバッテリー・ケミストリに対応できる革新的なソーラーパワー向けモノリシック降圧バッテリー・チャージャ IC「LT3652」の販売を開始しました。LT3652は高さの低い(0.75mm)12ピン3mm x 3mm DFNパッケージで供給されます。Eグレード・バージョンとIグレード・バージョンがあり、-40 ~ 125 で保証されています。1,000個時の参考単価は、Eグレード・バージョンが321円(税込み)から、Iグレード・バージョンが353円(同)からで、リニアテクノロジー国内販売代理店各社経由で販売されます。製品の詳細については、[www.linear-tech.co.jp](http://www.linear-tech.co.jp)をご覧ください。

LT3652は革新的な入力電圧安定化ループを備え、充電電流を制御して入力電圧を設定レベルに保持します。LT3652をソーラー・パネルに接続すると、入力安定化ループによってパネルをピーク出力電力に保ちます。副社長兼 Power Products 部門ゼネラルマネージャの Steve Pietkiewicz は、LT3652について「シンプルだが独自性のあるLT3652の入力電圧安定化ループ回路は、より複雑で高価な Maximum Peak Power Tracking (MPPT) 技術と実質的に等しい充電効率を達成します」と述べています。

LT3652は4.95V ~ 32Vの幅広い入力を使用可能で、絶対最大定格が40Vなので、システム・マージンを増やすことができます。また、入力電圧安定化ループにより、過電流状態において入力電圧が急激に低下する恐れがある場合に、安定化が不十分な電源からの充電を最適化することができます。直列に接続された1~3個のリチウムイオン/ポリマー・セル、直列に接続された1~4個のLiFePO<sub>4</sub> (Lithium Iron Phosphate)セル、最大14.4VのSLAバッテリーなど、種々のバッテリー・パック構成で充電が可能です。アプリケーションには、ソーラー駆動システム、12V ~ 24V 車載機器、バッテリー・チャージャなどがあります。

LT3652の充電電流は最大2Aまで設定可能です。このスタンドアロン・バッテリー・チャージャには外付けマイクロコントローラが不要で、C/10または内蔵タイマによる充電終了をユーザーが選択可能です。このデバイスは1MHzの固定スイッチング周波数で動作するので、小型ソリューションが可能です。フロート電圧帰還精度は±0.5%に規定され、充電電流精度は±5%、C/10検出精度は±2.5%です。充電が終了すると、LT3652は自動的に低電流のスタンバイモードになり、入力の消費電流が85µAに減少します。シャットダウン時には、入力バイアス電流が15µAに減少します。自動充電制御を行うために、バッテリー電圧が設定されたフロート電圧を2.5%下回ると、自動再充電機能によって新しい充電サイクルを開始します。

### LT3652の特長:

- ソーラー・アプリケーションでのピーク・トラッキング向けのソーラー電源電圧安定化ループ
- 広い入力電圧範囲: 4.95V ~ 32V (絶対最大定格 40V)
- プログラム可能な充電電流: 最大 2A
- マルチケミストリ: 抵抗で設定可能な最大 14.4V のフロート電圧により、リチウムイオン/ポリマー、LiFePO<sub>4</sub>、SLA、

シンプルな制御ループでピーク・パワー・トラッキングに対応できる画期的な 2A ソーラー・バッテリー・チャージ

NiMH / NiCd ケミストリに対応可能

- 充電終了をユーザーが選択可能: C/10 または内部終了タイマ
- 充電以外の期間のバッテリーからの流出電流:  $< 1 \mu\text{A}$
- 1MHz のスイッチング周波数により、小型の外付け部品を使用可能
- フロート電圧帰還リファレンス精度:  $\pm 0.5\%$
- 充電電流精度:  $\pm 5\%$
- NTC 抵抗温度モニタ
- 自動リセット付き不良バッテリー検出
- 高さの低い (0.75mm) 3mm x 3mm DFN-12 パッケージ

フォトキャプション: ソーラー駆動可能なバッテリー向け、32V (最大 40V)、2A マルチケミストリ・チャージャ

Copyright: 2009 Linear Technology

###

## リニアテクノロジーについて

リニアテクノロジー(Linear Technology Corporation, Nasdaq: LLTC、本社: カリフォルニア州ミルピタス)は 1981 年の設立以来、高性能アンプ、コンパレータ、電圧リファレンス、モノリシック・フィルタ、リニア・レギュレータ、DC/DC コンバータ、バッテリー・チャージャ、データ・コンバータ、コミュニケーション・インターフェース IC、高周波信号コンディション IC、 $\mu$  Module など、多岐にわたる高性能アナログ半導体を提供しています。リニアテクノロジーの高性能アナログ半導体は通信、携帯電話、各種ネットワーク製品、コンピュータ、コンピュータ周辺機器、ビデオ/マルチメディア、産業計測、セキュリティをはじめ、デジタルカメラ、MP3 プレーヤー、医療、自動車向け電子部品、FA、プロセス制御、軍需・防衛に至る、あらゆる分野で使用されています。リニアテクノロジーは 1986 年に株式公開、2000 年には S & P 500 企業に選ばれています。

LT, LTC, LTM,  $\mu$  Module 及び会社ロゴは Linear Technology Corporation の登録商標です。その他の登録商標・商標は、それぞれの所有者にその権利が帰属します。記載内容は予告なしに変更される場合があります。

### メディアの方お問い合わせ先:

リニアテクノロジー株式会社 マーケティング 高橋和渡 TEL: 03-5226-7291 Email: ktakahashi@linear.com  
ミアキス・アソシエイツ 河西 TEL: 0422-47-5319 Email: linear-pr@miacis.com

### 記事掲載時お問合せ先:

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町 3-6 秀和紀尾井町パークビル 8F  
リニアテクノロジー株式会社 TEL: 03-5226-7291(代表) www.linear-tech.co.jp

### 本社メディア担当者

John Hamburger, Director Marketing Communications

[jhamburger@linear.com](mailto:jhamburger@linear.com)

408-432-1900 ext 2419

Doug Dickinson, Media Relations Manager

[ddickinson@linear.com](mailto:ddickinson@linear.com)

408-432-1900 ext 2233

以上